

平成30年度 学校経営の具体的計画と達成基準

井原市立稲倉小学校

学校経営目標等	具体的計画	平成30年度年度の達成基準
1 豊かな心の育成	<p>(1) 支持的な風土づくりや共に高め合う人間関係づくりを推進する。</p> <p>(2) 「挨拶」「返事」「履き物をそろえる」「交通のきまりを守る」(あははの子)を1年を通して繰り返し指導し定着を図る。</p> <p>(3) 特別の教科 道徳についての研修を充実させるとともに、効果的な指導法を探り、心の教育を推進する。</p>	<p>① 定期の教育相談やQ Uを活用して、生徒指導上の問題を早期発見するとともに、ペアワークや縦割り活動などを取り入れ支持的な風土づくりや高め合う人間関係づくりを推進する。</p> <p>② 「挨拶」「返事」「履き物」「交通安全」を焦点化し、1年を通して具体的な目標を、生徒指導委員会や児童会活動等と関連付け、短期スパンでのPDCA サークルで95%の達成率をめざす。特に、「いつでも・どこでも・誰とでも」挨拶ができるように支援していく。</p> <p>③ 新学習指導要領による道徳の年間計画や全体計画に基づいた授業を行う。そして、道徳の研修を取り入れ、指導法の改善を図る。 また、「岡山型学習指導のスタンダード」の徹底を図り、落ち着いた学校生活ができるようにする。</p>
2 確かな学力の育成 (教科等の指導, 各種教育の推進)	<p>(4) 家庭学習習慣の定着や「読み・書き・計算・読書」等の基礎的・基本的な学力を身に付けさせ確かな学力の向上を図る。</p> <p>(5) 校内研修の推進を通して、外国語活動の指導方法を工夫し、コミュニケーションや表現力の向上を図る。</p>	<p>④ 学習の手引きを活用し、学習規律の定着や家庭学習の習慣化を進めるとともに、水曜6校時の学力補充の時間や放課後算数教室、土曜サポート学習により、基礎学力の定着を図る。</p> <p>⑤ 校内研究に取り組み、全員が年間1回以上外国語活動の授業公開を行い、コミュニケーションや表現力の向上に向けた実践的な研修を行うと共に、外部講師を活用しながら各種研修を計画的に行う。</p>
3 健やかな体の育成 (体育, 保健, 安全指導の推進)	<p>(6) 戸外で遊ぶ習慣を育成し、体力づくりに継続的に取り組み、体力の向上を図る。</p> <p>(7) 家庭と連携して、基本的な生活習慣の定着を図る。</p>	<p>⑥ 週に1度は、業間に外遊びの時間を設定し、全校遊びや縦割り遊びを行う。また、年間3回以上の外遊び重点期間を設定して外遊びを呼びかけ、昼休みには80%以上の児童が戸外で運動する環境作りを行う。</p> <p>⑦ 「さわやかスタート」チェックを年3回以上行い、基本的な生活習慣の定着を図る。</p>
4 特別支援教育の充実	<p>(8) 特別支援の必要な児童について共通理解を図り、指導方法を工夫し、より落ち着いて学習ができるようにする。</p>	<p>⑧ 巡回相談等の機会を活用したり、研修をしたりして、特別支援教育のあり方について全職員が理解を深め、指導に生かす。また、情報交換を充実し、共通理解のもと指導に当たる。</p>
5 生徒指導の充実	<p>(9) 校内で「報告」「連絡」「相談」体制を確立し、生徒指導主事を中心に組織的に対応にあたりるとともに、外部機関との連携も進める。</p>	<p>⑨ 不登校傾向の児童が1名見られる。また、生徒指導上注意を要する学級が1クラス見られる。職員間での情報共有を図り、連携した指導がとれるよう生徒指導委員会を月に1回開催する。また、必要に応じて外部機関との連携を図る。</p>
6 保護者や地域との連携と開かれた学校づくり	<p>(10) 保護者や地域、関係機関との連携を密にし、開かれた学校づくりを推進する。</p>	<p>⑩ 教育活動や環境整備において、地域の人材活用を積極的に行うなかで、キャリア教育の充実に努める。学校便りを月に2回以上発行し、家庭や地域に情報提供していく。</p>
7 教育環境の充実	<p>(11) 教材・教具等の備品の整備及び有効活用を図る。 校内環境を整備し、安全で美しく落ち着いた学校を目指す。</p>	<p>⑪ 校内予算委員会を学期に1度開催し、必要な備品の購入を計画的に進め、学習活動の中で活用できる環境整備を進める。 月に1度の安全点検等で校内の環境を点検し、不備な状況は迅速に改善していく。</p>